



ThemisStruct
テミストラクト

B2B・B2CビジネスにおけるWebサービスの モデルケースと認証基盤の役割

株式会社オーグス総研
事業開発本部 テミストラクトソリューション部

金井 敦

認証基盤の主要なユースケース

企業/企業グループ内の業務向けの「**社内統合認証基盤**」を構築する

顧客向けサービスサイトの「**共通ID基盤**」を構築する

オープンAPIを提供するための「**API連携認証基盤**」を構築する

本日のテーマ

エンタープライズ向け

企業/企業グループ内の業務向けの「**社内統合認証基盤**」を構築する

本セッションでの取り扱いテーマ

B2B・B2C向け

顧客向けサービスサイトの「**共通ID基盤**」を構築する

オープンAPIを提供するための「**API連携認証基盤**」を構築する

認証基盤が果たすべき役割とは？

認証基盤が果たすべき役割として、本セッションでは下記3つの観点で整理を行いたいと思います。

◆ サービス利用時のUX向上に寄与できる基盤



- ユーザが簡単に手間なくスピーディにサービスを利用できる

◆ 安全にサービスを利用・提供できる基盤



- ユーザがサービスを信頼できる、安心して情報を提供できる
- サービスの安全性が適切に維持され、安定的に提供できる

◆ サービスの開発や運営に貢献できる基盤

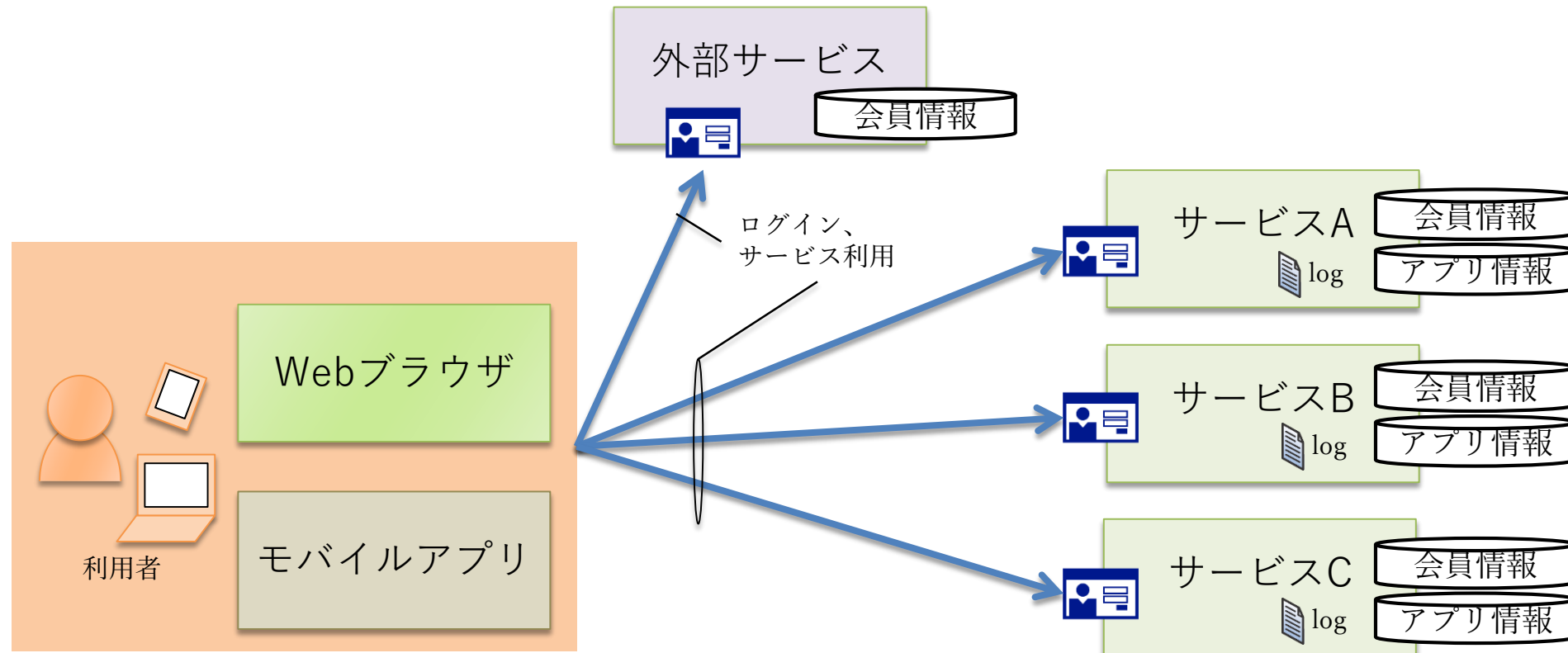


- 開発資源をメインとなるサービスの機能拡張、改善に集中できる
- システム運用における作業や時間を抑制できる

B2B・B2Cビジネスにおける 従来型のWebサービスモデルの課題

従来型のWebサービスモデルケース①

- ◆ Webアプリケーションサーバ上で提供される各種サービスにユーザ登録を行い、Webブラウザもしくはモバイル上のアプリケーションからログインしてサービスを利用する。
- ◆ アカウントやアプリケーション上のデータ等は個々のサービス毎に運用管理される。



従来型のWebサービスモデルケース①における課題

